

# セーフティーシグナルホーン 取扱説明書

セーフティーシグナルホーンは、エアーポンプで空気を注入することで何度も利用することができます。空気注入時の注意点を以下に記載します。ご利用前にご確認下さい。

エア注入方法：シグナルホーン本体のバルブ部にエアーポンプを取り付ける



写真①  
本体の下部、裏側にバルブがあります。  
取り付けナットが緩んでいる、  
中央部の突起物が奥に入り込んでいる、  
といった異常が無いことを確認して下さい。



ロック状態



写真②の様に  
レバーが倒れている = ロック解除 状態

エアーポンプを本体に  
取り付ける時は、  
『ロック解除』の状態で  
取り付けて下さい

写真③の様に  
レバーが立っている = ロック状態  
※ロック状態で本体に取付けない様、  
ご注意下さい。



写真④  
エアーポンプをロック解除状態にして  
バルブの奥まで差込みます。

※奥まで入らない場合は次ページの  
「■ポイント■」をご参照下さい。

※次ページに続く



写真⑤



写真⑥

エアーポンプを奥まで差込んだら、写真⑥の様にレバーを立ててロックします。  
あとはポンプを動かしてエアー注入して下さい。

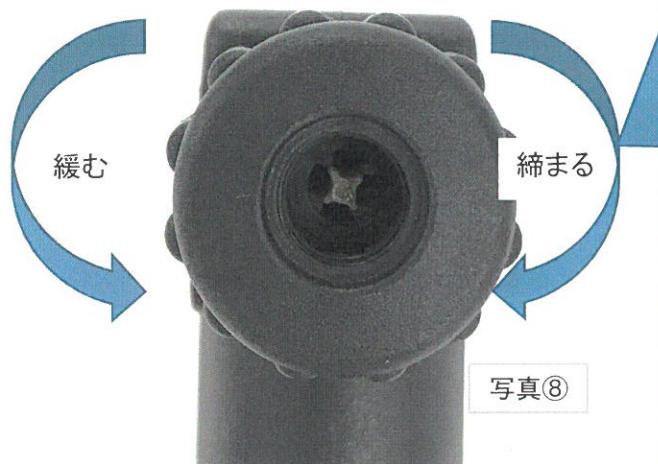
※エアーが入らない、ロックしても緩い・ロックが固い 場合は以下の「■ポイント■」をご参照下さい

#### ◆ポイント◆

エアーポンプがバルブの奥まで入らない場合は、以下の方法で調整して下さい。



写真⑦



写真⑧

写真⑧の向きで、  
右回し: 中のゴムチューブが締まる  
左回し: 中のゴムチューブが緩む  
↓  
ポンプを差込んだ時に、  
バルブの奥まで入らない→左回し  
ロックしても外れる、空気が入らない→右回し  
  
個体差がありますが、  
右回しでネジにきつさを感じたところでストップ。  
そこから左回しに「半周ほど」戻す  
程度が良好な位置です。  
ロック解除時はバルブの奥まで差込みやすく  
ロック時は軽く引っ張ってもバルブから抜けない  
位が理想です。